

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	2113
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島大学			科目開講 キャンパス	東広島キャンパス (大学附属農場)	
2. 科 目 名	正式科目名	命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習			クラス名	
	副題				配当年次	1
					受入学年	1, 2, 3
	旧科目名					
	学問分野	番号	33	名称	農学	
サテライトで開講される科目の科目群				A群	B群	
3. 担当教員名	谷田創・黒川勇三・羽倉義雄・吉村幸則・磯部直樹・実岡寛文・上田晃弘・沖田美紀・妹尾あいら					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2020 年 9 月 1 日 (火) ~ 2020 年 9 月 4 日 (金)					
個別開講日	1 回目 9/1	2 回目 9/1	3 回目 9/1	4 回目 9/1	5 回目 9/2	6 回目 9/2
	7 回目 9/2	8 回目 9/2	9 回目 9/2	10 回目 9/3	11 回目 9/3	12 回目 9/3
	13 回目 9/3	14 回目 9/3	15 回目 9/4	16 回目 9/4	試験日	9/4
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 () ②. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	30 人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考(志望動機を考慮しながらも低学年から優先的に選考)		
10. 科目内容・ 授業計画	広島大学の西条ステーション(農場)では、太陽の恵みを受けた大地で作物を作り、それらを飼料として家畜を繁殖、成長させてミルクや肉、羊毛を生産している。また、畜産物や水産物を加工する食品製造実験実習棟と、動植物の精密実験圃場を有している。命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習では、多くの広島教員と農場技術職員の協力により、これらの施設を有効に活用して、草と家畜と土の循環のなかでミルクや肉を生産し、食品に加工していく過程を、講義、実習及び討論を通じて学び、他の生き物の命によって生かされている人間の存在について考える。 9/1(火): 西条駅集合、農場へ移動しガイダンス、農場の見学と説明 夕食後: 交流会&家畜の福祉について考える(西条共同研修センター) 9/2(水): 午前: 家畜のエサやりと乳搾り体験(農場)&家畜の体の仕組みを見る(学部) 午後: ニワトリの肉を加工する(食品製造実験実習棟) 夕食後: 家畜の福祉について考える&体験発表会準備(西条共同研修センター) 9/3(木): 午前: 家畜のエサやりと乳搾り体験(農場) 家畜の生命を支える大地の働きを探る(圃場および農場) 午後: 牛乳の試飲とバター作り(農場) 調理実習を通して家畜の命について考える(農場) 夕食後: 体験発表会準備(西条共同研修センター) 9/4(金): 午前: 体験発表会(学部講義室) 昼頃に西条駅解散 ※授業計画は天候不良等の理由により、内容が一部変更となることがあります。					
11. 試験・評価方法	受講態度、発表、受講後のレポートで評価する。フィールドを活用した演習なので農場の規則を守れない受講者は不可となる。					
12. 別途負担費用	授業期間中の宿泊費と食事費等(1万円以内)を現地で徴収します。集合場所までの旅費は自己負担です。開催 1 週間前以降のキャンセルについては食事代を、前日および実施期間中のキャンセルについては参加費用全額(1万円以内)を支払っていただきます。					

13. その他特記事項	●受講人数：30名程度 本授業科目は、広島大学他学部と他大学の非農学系学部の学生のために開講されるものです。受講者多数の場合は、本演習の体験を所属大学の授業で生かすことを踏まえて、低学年の学生（1,2年生）を優先して選抜します。定員以上の受講希望者が想定されますので、<u>受講が認められた後にキャンセルしないでください。キャンセルされますと受講できなかった方々に大変迷惑となります。事前に自分の予定と演習の日程を調整した上でお申し込みください。</u> ●傷害保険：事前に学生教育研究災害傷害保険（財団法人日本国際教育支援協会）相当の傷害保険に加入しておいてください。 ●集合日時：9月1日（火）の13時にJR山陽本線 西条駅前（南口のロータリー）に集合してください。大学が準備したバスで農場まで送迎します。昼食は集合時間までに済ませておいてください。なお、演習最終日の9月4日（金）は昼頃にバスでJR西条駅前まで送迎します。 ●持参物：医療保険証、作業以外の時に着る動きやすい服（虫対策のため半ズボン等は不可）、帽子（サンバイザー不可）、水に濡れたり汚れたりしても構わない靴（サンダルやヒールのある靴は不可）、雨具（カッパ）、筆記用具、洗面用具、タオル、身の回り品等。作業用のつなぎ及び長靴はこちらで用意します。 ※持ち物の詳細については受講者が確定し次第、個人宛にメールで案内しますので、<u>常時連絡の取れるメールアドレスを正確に記入してください。</u>また、その際につなぎ及び長靴のサイズの確認と海外渡航歴の確認をしますので、必ず返信してください。<u>メールでの連絡の際には必ず氏名と所属大学を明記してください。</u> ●注意事項： ①災害の発生や天候の状況（台風等）によっては開講の中止や内容の変更もあります。 ②家畜伝染病（口蹄疫）の予防措置のため、<u>演習日前の2週間以内に海外渡航を予定しておられる方については受講を認めない場合がありますので、受講を申し込まれる前に問い合わせてください。</u>特に演習日前の2週間以内に口蹄疫発生地域（中国・韓国等）からの帰国を予定されている方は受講できません。帰国がこれらの期間より前であっても、海外で使用した衣服や靴を農場内に持ち込むことはできません。さらに本演習前に国内の家畜農場や家畜関連施設（食肉センターを含む）に立ち入られた方またはその予定のある方も事前に下記までご相談ください。 ③演習中は決められた場所以外への出入りはできません。演習期間中の移動は送迎バスを利用します。 ④<u>広島大学構内（附属農場、西条共同研修センターを含む）は全面禁煙です。</u> ●欠席・遅刻の通知方法：やむなく欠席・遅刻する場合は1週間前までに所属大学学生係および広島大学生物生産学部学生支援室まで必ず連絡をしてください。 【問合せ・連絡先】 ・ 広島大学生物学系支援室（学士課程担当） 〒739-8528 東広島市鏡山1-4-4 TEL：082-424-4323 E-mail: sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp ・ 広島大学大学院統合生命科学研究科 教授 谷田 創 〒739-0046 東広島市鏡山2-2965 TEL：082-424-7994 E-mail: htanida@hiroshima-u.ac.jp						
14. サテライト科目の社会人受講について	<table><tr><td>科目等履修生（単位付与）として受け入れ</td><td>可</td><td>否</td></tr><tr><td>聴講生（単位認定不要）として受け入れ</td><td>可</td><td>否</td></tr></table>	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否
科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否					
聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否					